

声に出すこと

私は、市議会アドベンチャーを体験して、小さな希望をもらった。市議会アドベンチャーでは、各学校の代表が江田島市をより良くするための提案をした。それに対し、議会の方々が丁寧に答えてくださった。私は、家からリモートでの参加だったが、張りつめた空気を感じた。議場に行くことができたのなら、もっと緊張していたかもしれない。



鹿川小学校
かつま 小愛さん

今まで「政治」というものに、自分は関係ないと思っていた。直接意見するわけでもなければ、選挙の票を入れることもできないからだ。しかし、声をあげれば、本気で変えようと思えば私たちでも江田島は変えられるのだと思った。

今、私には目標がある。来年度入学する中学校に、新しい部活動をつくりたいのだ。周りの友達から「部活動をつくることはできない。」というわさを聞き、この挑戦は不可能だと感じた。

しかし、今回体験した市議会アドベンチャーで、「声をあげれば何か変わるかもしれない」と、少し希望を持つことができた。

今回の市議会アドベンチャーで、「意見や考えがあれば言っていんだ」と思った。きちんと根拠を持って発言すれば、小学生の意見でも聞いてくださる大人の方々がいることに気づき、とてもうれしくなった。

議会アドベンチャーを終えて

僕は市議会アドベンチャーを体験して、市議会で行われていることをいろいろと学ぶことができました。今回、クラスのみならず自分たちの町の課題を出し合い、今よりもより良い生活にしたいという願いを込め、「切串に公共交通機関を通すこと」を提案することにしました。議長さんから名前を呼ばれて意見発表をするとき、とても緊張しました。発表を聞いている人がどう思うのか不安な気持ちにもなりましたが、僕たちが一生懸命考えて発表した意見に、市の方々から回答をさせていただきました。僕たちの意見に対して、なぜできないのかを納得できるように、丁寧に教えてくださいました。

今年はリモートでの参加となり、実際の議場には行けなかったのがとても残念でしたが、議会事務局の方や市役所の方々の前で堂々と発表ができたし、バスを通すために自分たちに何ができるのかということが分かりました。

みんなが江田島市をより良くしようとしていることを知ることができました。

この体験をもとに、これからもっと政治に関心をもって生活していきたいと思えます。そして僕も、6年後に選挙権が与えられるので、自分も政治に参加して、自分達が住んでいるこの江田島市の未来をより良くしていくために何ができるかを考えていきたいです。



切串小学校
まつもと 朋也さん

市議会アドベンチャーを終えて

江田島市議会アドベンチャーでの体験は、江田島市に住んでいる私たちの暮らしについて考えるよい機会になりました。「近くで買物ができなくなって、お年寄りが困っているのではないかな。」「みんなで遊ぶ公園があったらいいな。」「たくさんの人に江田島に来てもらって、江田島市が元気になればいいな。」など、学級で話し合うといろいろな思いや願いができました。そして、どうすればもっと暮らしやすい江田島市になるのか考えました。



三高小学校
みやもと はな 華さん

江田島市議会アドベンチャーでは、他校の意見発表を聞くことができました。三高小学校の意見発表とは違う意見ですが、自分のことだけでなく、周りの人のことも考えて提案していると思いました。

人によって、思いや願い、考えに違いがあります。それをどのように実現させていくのか考えて決めていくところが市議会です。私たちの意見発表に対して市の考えを伺うことができました。

このようにして、江田島市に住んでいる私たちの暮らしがよくなるように、議会と話し合われていることが分かりました。

市議会アドベンチャーを終えて

市議会アドベンチャーに参加しました。私は意見発表者だったので、とても緊張しました。今回、私たち江田島小学校6年生が提案したことは、「えたじまん館」の建設です。私たちは、総合的な学習の時間で、地域の宝と言える場所や建物、お店などについて調べました。その中で、地域とのつながりを大切にしていたり、それぞれの仕事で目標に向かって努力、工夫をしている素晴らしい方々がいらっしゃることを実感しました。だからこそ、江田島の素晴らしい「もの」だけでなく、素晴らしい「人」を紹介する施設、「えたじまん館」があればいいなと考えたのです。当日は、私たちの提案を真剣に聞いてくださったのでうれしかったです。しかし、費用や管理する人のことを考えると建設については難しいとのことでした。「これが欲しい。」「あれがしたい。」といった気持ちだけでは、実現できないことが分かりました。また、提案をするなら、そのような細かいところまで考えなければいけないことも学びました。今回、私たちの提案は採用されませんでした。江田島をより良くしていきたいという気持ちは伝わったので良かったです。



江田島小学校
ふくい ひなた 日葵さん

これからも江田島のために自分たちにできることは何かを考えながら生活をしていきたいと思えます。

議会アドベンチャーに参加して

先月、議会アドベンチャーに参加しました。大古小学校は、江田島市の活性化に向けたオーリーブ振興について意見発表をしました。緊張したけれど、多くのことを学びました。



大古小学校
たにおか ひろあき 鵬晶さん

一番驚いたことは、自分たちがよいと思う意見でも簡単には通らないということです。例えば、僕たちが提案した「市がオーリーブを植えるための土地を市民に貸し出すのはどうか」という意見には、「人の土地を勝手に貸し出すのは法律上難しい」、「苗の育成所を作るのはどうか」という意見にも、「費用や働く人が必要だから難しい」と言われました。それを聞いて、法律とか、その意見が通った後のことも考えて議論しなければいけないのだなと思いました。市の方は、僕たちの提案を最後まで真剣に聞き、取り上げるかどうか本気で考えて答えてくれました。それを見たら、自分たちもしっかり発表しないとイケないと思いました。

僕は今まで、市議会なんて簡単に意見が通って、すぐに実行されるのだと思っていました。今回、議会アドベンチャーを体験して、議会で意見を通すのは難しいこと、でも、市議会は僕たちが自分の意見を言える場でもあるということに気づきました。僕が18歳になって選挙権を持ったなら、江田島市のために役に立つような人を選挙で選びたいです。

市議会アドベンチャーを終えて

中町小学校では、津島織物を中町だけでなくもっとたくさんの人に広めたいという気持ちをもって提案しました。提案を受けて、教えていただいたことは、津島織物製造株式会社で作られた紙布（しふ）が、江田島荘の一番大きな壁と客室に使われていることや、お土産として、紙布で作られた製品がそこで売られていること等です。私たちも2年生の時に工場へ実際に見学に行ったり、今年も2年生と4年生が学習したことを私たちに発表してくれたので、紙布のことをよく知っているつもりでしたが、さらに詳しく知ることができました。

切串小学校の発表を聞く中で、切串の方では路線バスが通っていない地域もあり、車を持っていない人や車を運転できない高齢者等は、予約が必要なおれんじ号かタクシーでしか移動することができないことを知りました。路線バスを通すことを住民が望んでいるけれど、市の人口が減っていることや利用するお客さんが少ないことから、実現化は難しいことも分かりました。

私は、今日の学習を通して、これから私たちは、もっと公共交通機関を利用したり、江田島の良さをもっと学び、広めていったりしたいと思いました。

市議会議員の方々が、話し合いながら、江田島市を住みよい町にしていることが分かったので、議会だよりを読んでみようと思いました。また、18歳になったら、必ず選挙に行こうと思います。



中町小学校
ますい めいさき 舩井 明咲さん